

2008. 4. 30

みなさんこんにちは、男女共同参画WGです。年度末・年度初の、嵐のようなあわただしい時期も終わり、新緑が美しい初夏の季節になりました。年度初めに異動されたかたも、新しい職場にも少し慣れた頃ではないでしょうか。ゴールデンウィーク、しっかり休んで、しっかり充電しましょう！

ゴールデンウィークを休もう！（連続休暇の取得促進について）

島根大学が平成17年に定めた「次世代育成支援のための事業主行動計画」には、「連続休暇の取得促進」として、「ゴールデンウィーク、年末年始の休日、夏期休暇、ハッピーマンデー休日などの前後の休暇取得などによる連続休暇の促進をはかる」とあります。そして「平成21年度末までに・・・年間休暇取得日数16日（取得率80%）以上を実現する」と、何と数値目標まで定められているのです。年間16日年休を取っておられる方、今どれだけおられるでしょうね？みなさん、年休も合わせてぜひ休みましょう！

「次世代育成支援のための事業主行動計画」はここからみられます。

http://www.shimane-u.ac.jp/index.php?option=com_content&task=view&id=201&Itemid=83

島大が年休**取得**を奨励するのはなぜ？ ～ワーク・ライフ・バランスの推進～

「ワーク・ライフ・バランス（＝仕事と生活の調和）の推進」が近年叫ばれています。「ワーク・ライフ・バランス」とは、「仕事以外の生活を充実させることが、仕事の充実につながる」「生活と両立しやすい、効率的な働き方、柔軟な働き方のできる職場に変えていくことで、女性・高齢者を含め、多様な価値観や生活経験をもつ人材の能力が活用でき、活力ある組織を創出することができる」という考え方です。年休の取得しやすい環境というのは、その最初の第一歩。女性にとって働きやすい環境というのは、男性にとっても働きやすい環境。男女共同参画の推進とは、女性を優遇しようというのではなく、老若男女問わず、誰にとっても生きやすい社会にしようとすることを意味しているのです。

・・・とはいえ、「この状態でどうやって休めというんだ！」と叫びたくなる方もおられるのでは。でも、「今日は早く帰る日」「ここは休む日」とまず予定を入れてしまい、それに合わせて仕事の仕方を変えていくという工夫が必要なのだそうです。どうぞお試しください。

出雲キャンパスでは、いよいよ病児・病後児保育がスタートしました！

平成20年4月1日から、待ちに待った医学部附属病院病児・病後児保育室が開設されました。病児・病後児保育室は、既設のうさぎ保育所が入っている「医学部会館」の同じ1階フロアに設置されています。パーティションによって2部屋に区切る事ができ、最大6名受け入れ可能です。利用対象の広さにご注目(0歳～小学3年生まで、職員・学生の子どもであれば、学外の保育所利用者でも利用可)ください！ 詳細は下記をご覧ください。

<http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/woman/report3/report-3-3.html>

本部，法文学部，教育学部に男性・女性休養室が完成しました！

本部棟及び法文学部棟，教育学部棟に男性休養室，女性休養室がそれぞれ完成しました。特に，女性休養室は冷蔵庫やコンロ，間仕切りカーテンもあり，授乳室として使用できるようになっています。使用ルールについては後日お知らせします。なお，今後は総合理工学部，生物資源科学部へも設置予定です。

出雲キャンパス－附属病院女性スタッフ支援室主催の講演会

女性スタッフ支援室では、「男性の家事・育児参加」「ワーク・ライフ・バランス」をテーマにした、学生・職員対象の講演会を6月に計画しています。詳細は後日お知らせいたしますが、男性ロールモデルとなり得る、とてもすてきな演者（ですから、当然男性！です）をお呼びできそうです。どうぞ、お楽しみに！

「島大子育てネット」の登録受付中！！

「島大子育てネット」を立ち上げ、メンバーによるメーリングリストを作成し、楽しく情報交換を行なっています。子どもの有無や性別・年齢に関係なく、子どもに関心のある教職員の方ならだれでも参加できます。

子育てしながら働きやすい職場づくりについて、一緒に考えてみませんか。

メンバー登録をご希望の方は、法文学部の片岡までご連絡ください。

(メールアドレス kataoka@soc.shimane-u.ac.jp)

このメールマガジンについてのご意見・ご質問等は

kyodo-sankaku@jn.shimane-u.ac.jp

まで お願いいたします。

★ お願い ★ このメールマガジンは、島根大学の構成員全員にお伝えしたい内容を掲載しております。allstaff宛のアドレスにお送りしていますが、学部によっては講座の代表者の方にしか届かない設定がされているところがあるようです。そのような場合は、代表の方が講座内のスタッフ全員に転送・配信下さいますようお願いいたします。また、PC環境にないスタッフがおられる講座等では、たいへんお手数ですが、プリントアウトして回覧していただければ幸甚です。